


ヤエガワカンバ	<i>Betula davurica</i> Pall.	情報不足
(環境省:準絶滅危惧)		カバノキ科
選定理由	飛騨地方の東部に見られるという情報があり、希少な植物である。	写真(高橋弘) 
形態の特徴	落葉性高木。葉は短枝上に2枚ずつつき、葉柄は長さ0.8-1.5cm、葉身は卵形から卵状楕円形、鋭尖頭、基部はくさび形、縁は不整な重鋸歯があり、長さ3-6cm、幅2-3.5cm。花は葉の展開と同時に咲く。雄花序は下垂し、雌花序は上向き。	
生態的特徴	麗温帯の明るい林縁などに成育する。花期は4-5月。	
分布状況	朝鮮、中国東北部、ウスリー、アムール地方に分布し、日本では北海道と中部地方以北の本州にある。岐阜県では県北の東部に分布する可能性がある。	
減少要因	冷温帯林の伐採などにより減少する可能性がある。	
保全対策	存在を確認した場合は一帯を保全する。	
特記事項		
参考文献		
		

文責:高橋弘